



テーマ『阿仁前田駅へようこそ』
林 隆雄さん
設置場所…阿仁前田駅



テーマ『北の猛者(もこう)』
高頭義幸さん
設置場所…秋田北鷹高校



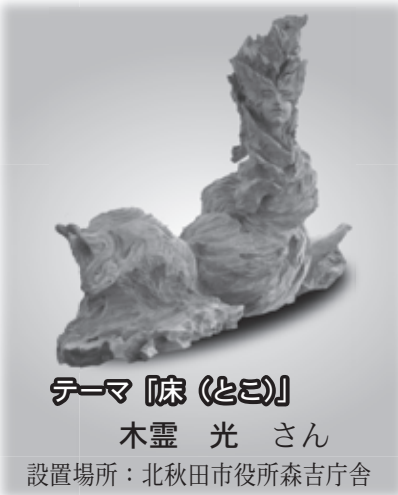
テーマ『家族』
栗田広行 さん
設置場所…北秋田市民病院



テーマ『森の恵みと先人の知恵』
西間 健 さん
設置場所…(仮称)生涯学習交流施設



テーマ『いのち』
伴 正史さん
設置場所…伊勢堂岱遺跡



テーマ 啄(とく)
木霊 光 さん
設置場所：北秋田市役所森吉庁舎

【カーバー6人の作品】
※設置場所は予定

「今後は各施設で楽しんでほしい」福森企画委員長
最終日の13日に行われた閉会セレモニーでは、カーバー一人一人が作品に込めた思いを述べ、最後にチェンソーアートフェスティバル企画委員会の福森卓・委員長が「カーバーの皆さんには、4日間に渡り作品を製作していただき感謝している。完成した作品は市内の各施設に置くことが決まっているので、来場者の方々にはそちらでも作品をまた見ていただきながら、製作風景も思い出してもらえたら幸いと思う。見に来てくれた来場者の皆さん、関係者の皆さんに心から感謝申し上げます」などとあいさつを述べました。
イベント開催中は約4800人が来場し、閉会後も会場に展示された作品を一目見ようと、連日、見物客が訪れていました。

カーバーのコメント

木霊 光(こだまひかる)さん
森林の中の地面である林床を表し、カタツムリと花をイメージして作った。自分は目に見えるものではなく、五感で感じたものを作品としている。人によって色々な捉え方もあると思うが、それぞれ作品を見て何かを感じ、楽しんでもらえたらと思う。
伴 正史(ばんまさし)さん
伊勢堂岱遺跡に置かれるので、縄文時代をイメージした。自分の作品の特徴は彫り過ぎないところ。あとは見る人それぞれで気持ちを入れて見てもらいたい。
林 隆雄(はやしたかお)さん
奥森吉への玄関口の駅ということであったので、ないりつくんと森吉のじゅうべい、くまげら、太湖をイメージして作った。駅に来た人に見て楽しんでもらいたい。
高頭義幸(たかとうよしゆき)さん
秋田北鷹高校に置かれるので、鷹をイメージした。翼と爪が大きくなっているバランスが悪いが、生徒たちが大きく羽ばたき夢を掴めるようにという思いでこのような形にした。
栗田広行(くりたひろゆき)さん
この北欧の大地に置かれるというので、ここで遊んでいる家族をイメージした。作品を見た家族が、幸せな気持ちになってくれたらという思いで彫らせていただいた。
西間 健(にしまけん)さん
生涯学習の施設に設置予定ということで、子どもからお年寄りまで見てすぐに分かる形にした。北秋田市の森や川など豊かな自然をイメージし、この自然を残してきた先人も取り入れた。



巨大な丸太をダイナミックに彫り進めるカーバー



～北の大地で!! 触れて体験



広大な大地に飾られた赤とんぼ



出演したカーバーの皆さん



木工手作り体験



チェンソーアート体験教室

国民文化祭 あきた 2014 チェンソーアートフェスティバル 発見×創造 もうひとつの秋田

「多くの人が訪れ楽しんでくれることを願う」津谷市長
10月10日に行われたオープニングセレモニーでは、国民文化祭北秋田市実行委員会会長である津谷市長が「ここ北秋田市は、森林資源が豊かなところ。この豊かな森林資源を利用してこれまでもチェンソーアート競技を開催してきました。今回は競技とは違い時間制限もなく、直径80センチ、高さ4メートルの巨大な丸太からトップカーバーたちがどのような作品を作り上げるのかを私も楽しみにしている。カーバーの方々のテクニックと素晴らしい作品でチェンソーアートフェスティバルを盛り上げていただき、北秋田市を活気づけてもらいたい。期間中は体験型のイベント等もたくさん用意しているのので、多くの方が訪れ、楽しんでくれることを願っている」などあいさつを述べました。

「出演できることに感謝」6人のカーバーがあいさつ
続いて、出演するカーバー6人が、一人ずつあいさつを述べ、このうち、羽根山在住の高頭義幸さんは「今回、集まったカーバーは日本のトップと言うよりも世界トップの人たち。私には一生に一度しか経験できないような、素晴らしい環境であり、製作できるところを名誉に思っている。このような環境を作ってくれた実行委員会、スタッフに感謝し、力の限り頑張りたい」などあいさつ。
最後に、カーバーを代表して、西間健さんが改めてあいさつを述べ「今回のチェンソーアートフェスティバルには、素晴らしい会場、見事な丸太を準備していただき感謝している。この4日間をかけて、カーバー6人、来場者が感動できるような作品を頑張って製作したい」と決意を表しました。

国民文化祭あきた2014「チェンソーアートフェスティバル」が、10月10日から13日までの4日間、県立北欧の杜公園で行われました。期間中は、日本トップレベルのカーバー6人による公開製作のほか、チェンソーアート体験教室や木工体験など一般の方も参加可能な催しや、公園内の広大な芝生広場には市内小学生をはじめ、来場された方たちが作製した「木の赤とんぼ」を使った木のアート展など、様々な企画が用意され、多くの人が木の素晴らしさや魅力を感じていました。